

## 福島から野菜を直送

烏森住区住民会議

第五代会長 平澤 省之

広報からすもり一〇〇号発行、おめでとうございます。

住区まつりにおいて、十五年ほど前から福島からの産直野菜販売を行っております。きっかけは、当時住区まつりは子供中心のまつりになっており、大人から子供まで楽しめる地域のまつりにしたく、区役所の方の協力を得て、福島県の紹介をしていただき、始まりました。その後、東日本大震災がありました。福島を応援するという意味でも続けています。

今では烏森地域の方々も楽しみにしてくださって、住区まつりになくはならない存在になったと思われ。これからも福島とのつながりが続くように、また地域の中で明るい笑顔が広がるように願っています。



烏森住区まつり産直野菜販売 2017



烏森住区まつり産直野菜販売 2009



緑の校庭でグラウンドゴルフ 2019



力を合わせて住区まつり準備 2017

## 住区だより一〇〇号の「記録と記憶」

烏森住区住民会議 第六代会長 水口 紀勝

今も鮮明なのは、①烏森小学校校庭の天然芝生化実現と②住区まつり（キラキラワールド）の発足記事です。いずれも、烏森小学校・PTA・児童館・学童保育クラブ・同窓会・地域文化スポーツ団体・烏森住区住民会議と目黒区が各々の英知結集で研究工夫し、礎が築かれ、現行成果になりました。

今後も「できる時に」「できる人々が」「できる範囲で」を心に宿し、住区活動にご参加で、「つなげよう心 広げよう地域の輪」の推進を!!

## 計報

烏森住区のために長い間、ご尽力いただいた亀田 寿様が昨年八月にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

今回、「広報からすもり」は一〇〇号発行となりました。皆様のご協力に心から感謝いたします。原稿を書いてくださった方の文章を読みながら、「住区は様々な方の熱い思いでできている」と実感しました。他にもご尽力くださった方が大勢いらっしゃるでしょう。

今年度は実施できなかった行事も様々ありますが、何とか工夫して実施できた行事では、久しぶりに会えたこと、皆さんが来てくださったことが嬉しくて、大きな力になりました。マスクをし、距離をとりながらも、顔を合わせた、何気ない会話をしたり、困っていることを伝え合ったり...そんな機会が増えるようにと祈ります。

春はもつづくよこまで。引き続き感染症を予防しながら、どうぞお元気で過ごしてください。皆様のご健康とご多幸、そして烏森住区のみましますの、ご発展を祈ります。広報部（田村、飯田、富井、土田、古閑）